

## 3915 株式会社 テラスカイ

新型コロナウイルス感染拡大が与える影響とは？

IMPACT REPORT

COVID-19



本レポートを構成する新型コロナ関連分析結果

# 大手経済メディアへ分析データ提供多数

週刊エコノミスト 大型特集10ページ掲載6/1発売号

日本経済新聞、ITメディア、ダイヤモンドオンライン他

## 新型コロナ関連レポート累計1万ダウンロード突破！

特許取得済み自然言語処理技術  
膨大なニュースから解析を可能に

大手金融機関、事業法人を中心に  
100社以上にサービスを展開

MUFGアクセラレータプログラム  
グランプリ企業

# 目次

## テラスカイへの影響予測

1. 新型コロナウイルス影響サマリー
2. シナリオ分析（エリア別）
3. サプライチェーン影響予測
  - 仕入先企業への影響予測
  - 得意先企業への影響予測
4. AI決算コメント
5. 競合企業決算分析
6. 業績要因一覧
7. 企業基本情報

テラスカイ  
シナリオ影響スコア合計

48.42

増益の可能性

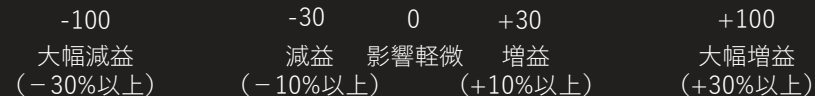
当企業は、業績にポジティブな影響を与えるシナリオが顕著にみられ、業績が伸張する可能性が高いといえます。

テラスカイ  
シナリオ影響スコア合計

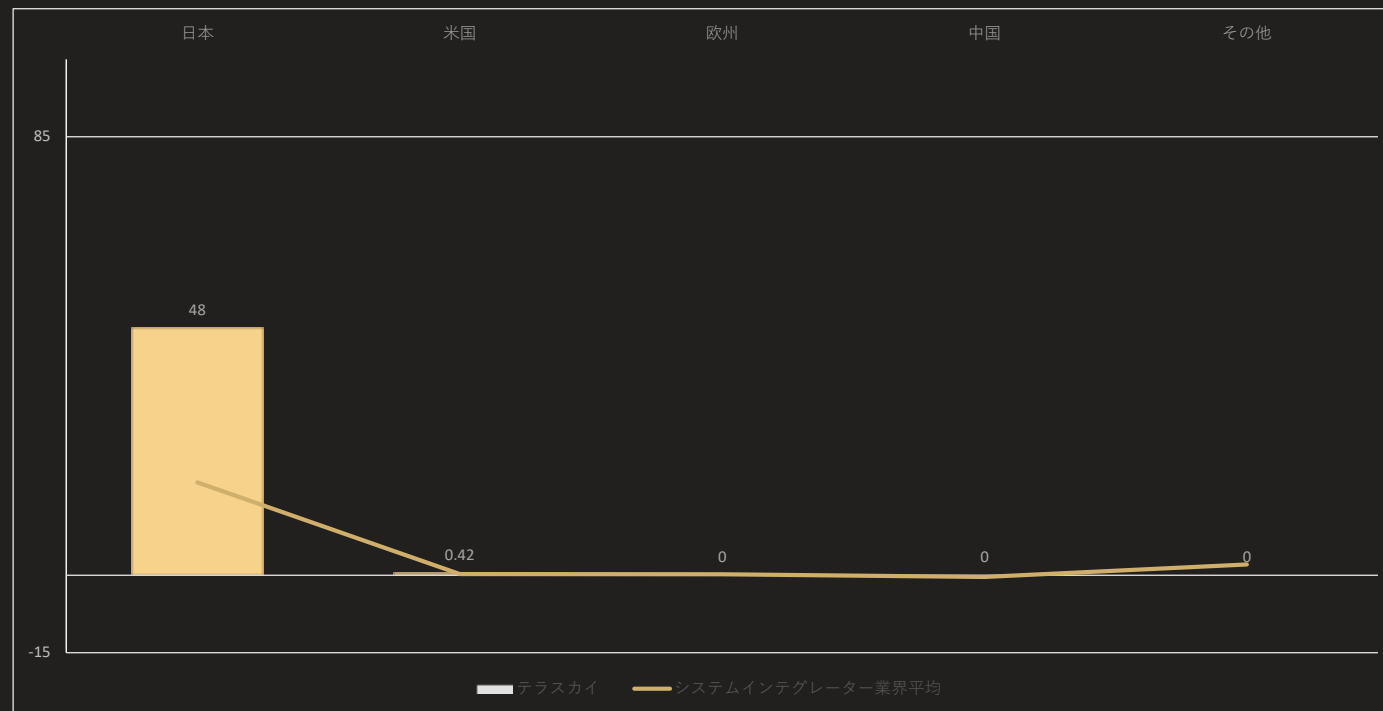
48.42

システムインテグレーター  
業界平均

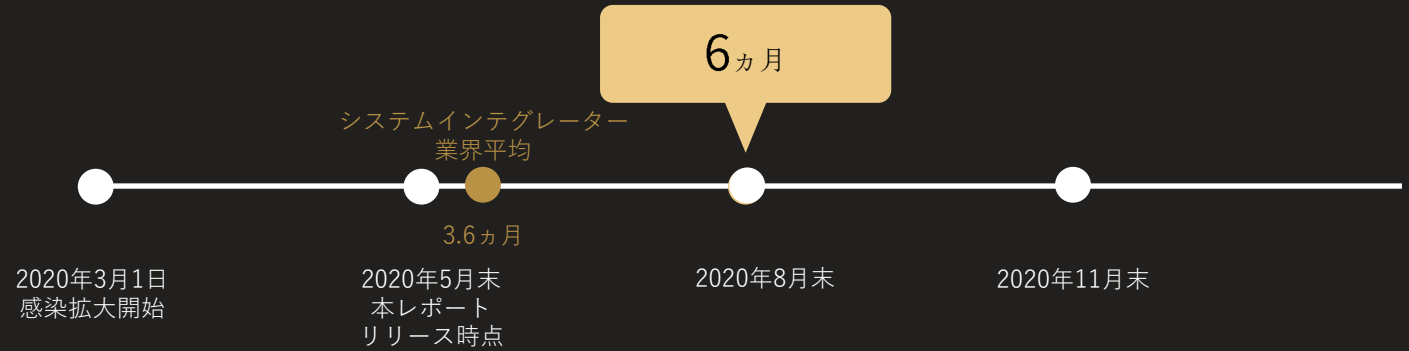
18.16



感染拡大エリア別 テラスカイへの影響



テラスカイ  
シナリオ影響平均時間軸



テラスカイ  
シナリオ影響平均時間軸

6.0ヵ月

本格的な影響はこれから

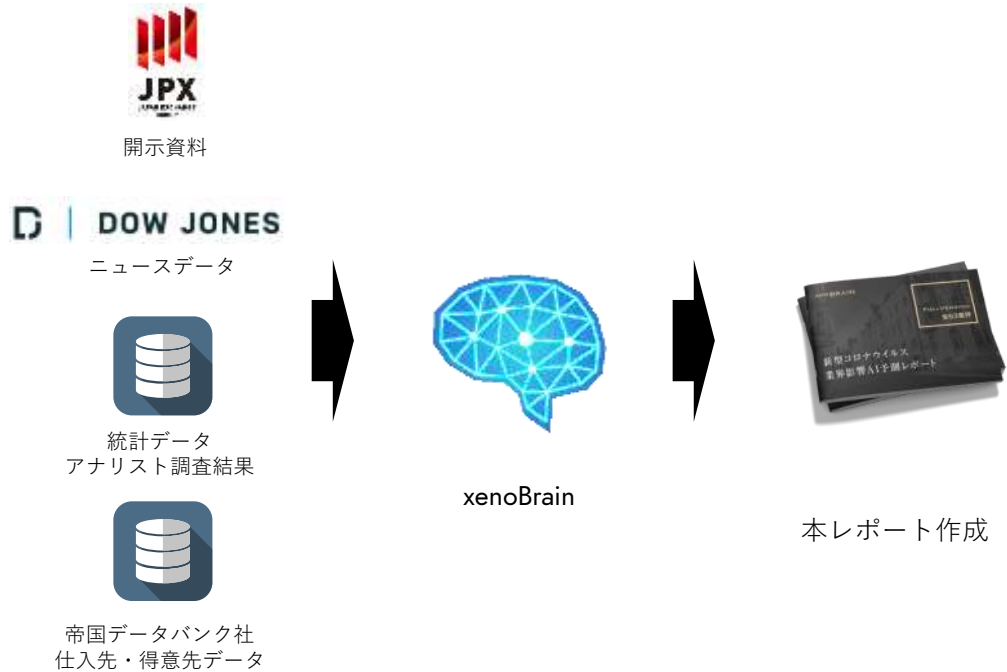
テラスカイへの影響時間軸

	テラスカイ	テラスカイ 仕入先業界平均	テラスカイ 得意先業界平均	システムインテグ レーター業界
短期 (~3か月以内に業績影響)	0%	0%	0%	61.12%
中期 (3か月~1年以内に業績影響)	100%	100%	100%	39.57%
長期 (1年超後に業績影響)	0%	0%	0%	-0.69%
シナリオ影響 平均時間軸	6ヵ月	6ヵ月	6ヵ月	3.6ヵ月

上記期間は、影響するシナリオ全体の時間軸を平均した期間で、全体として上記期間前後を中心に業績に顕在化することを意味します（2020年3月1日を感染拡大の初日として計算）。当企業では業績影響はこれから本格化していくことが想定されます。

# 本レポート上で掲載するスコアについて

## スコア生成方法について



本資料のスコアはxenodata lab.社独自のAIによる解析及びアナリストの独自調査によりデータを抽出し、その抽出結果をシステムにより自動で計算しております。その基となっているデータは以下の4つとなります。

- ①ニュースデータ（ダウ・ジョーンズ社から提供を受ける国内約100社の経済メディアのニュース記事データ）
- ②開示資料（有価証券報告書、決算短信及び決算説明会資料に含まれる数値及び文章）
- ③統計データ（様々な団体から発表、公開されている統計データ）
- ④帝国データバンク社から提供を受けた、仕入先、得意先データ

## スコアの見方について



ニュースによる外部環境の変化予測は減益傾向に偏っている

どちらの傾向にも偏りは見られない

ニュースによる外部環境の変化予測は増益傾向に偏っている

本資料上の企業ごとのスコアは、特定のニュースが発生した場合に、現時点でxenoBrain上でインプットされているすべてのシナリオの影響を計算したスコアです。また、本資料におけるスコアは、スコアの絶対値が大きければ大きいほど、将来業績に影響を与える可能性が高いと判断していることを意味します。また、0に近ければ近いほど実際に業績に影響する可能性が低いと判断していることを意味します。

### ※スコアを見るうえでの留意点

#### <情報の網羅性・正確性>

本資料のスコア計算に必要な情報の網羅性については鋭意努力しておりますが、インサイダー情報や市場の暗黙知など文字情報に落ちていないナレッジ、今後企業が行う対策などの企業努力や競争力は一切考慮できておりません。また、大量の企業についての予測を行うために公開されている情報を基に様々な前提をおいた自動処理が含まれており、十分な情報と時間を基にした調査を行ったアナリストと同じ見解にならない可能性もございます。あくまで公開されている経済情報のみからの予測であり、情報の網羅性・正確性を担保した予測ではないこと、ご注意ください。

#### <スコアの変動可能性>

ニュースの自動解析、アナリストの独自調査により一部データを構成しておりますので、時が経ちニュースが多く出るほどより多くのデータがインプットされ、結果としてスコアが変動することがございます。本資料は、表紙記載日付におけるxenoBrain上のデータを基に作成された資料であり、今後更新されることがございますのでご注意ください。



# テラスカイ

## 影響シナリオ一覧



## 各国合計新型コロナウイルス感染拡大

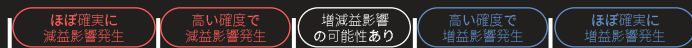
### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時間軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



-30    -5    0    5    30

Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	係数	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
1	日本新型コロナウイルス感染拡大	0.2	日本小売業界人手不足深刻化	0.2	日本RPA需要増加	1	日本RPA導入支援サービス需要増加	0.45	増収	1.8	1.8	中期	
2	日本新型コロナウイルス感染拡大	0.2	日本物流業界人手不足深刻化	0.2	日本RPA需要増加	1	日本RPA導入支援サービス需要増加	0.45	増収	1.8	1.8	中期	
3	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国テレワーク需要増加	0.2	米国社内コミュニケーションツール需要増加			0.02	増収	0.42	0.42	中期	
4	日本テレワーク需要増加	0.2	日本社内コミュニケーションツール需要増加					0.37	増収	7.4	7.4	中期	
5	日本テレワーク需要増加	1	日本テレワーク導入支援サービス需要増加					0.37	増収	37	37	中期	

# エリア別 シナリオ一覧

- 日本
- 米国
- 欧州
- 中国
- その他（インド、ブラジル、韓国、インドネシア、イラン、ロシア、トルコ、豪州、アフリカ）





# テラスカイ

## 影響シナリオ一覧



### 日本新型コロナウイルス感染拡大

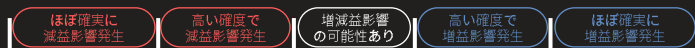
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時間軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	係数	影響	シナリオ 影響スコア	時間軸
1	日本テレワーク需要増加	⇒	1 日本テレワーク導入支援サービス需要増加	⇒		⇒		⇒		0.37	増収	37	中期
2	日本テレワーク需要増加	⇒	0.2 日本社内コミュニケーションツール需要増加	⇒		⇒		⇒		0.37	増収	7.4	中期
3	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 日本小売業界人手不足深刻化	⇒	0.2 日本RPA需要増加	⇒	1 日本RPA導入支援サービス需要増加	⇒		0.45	増収	1.8	中期
4	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 日本物流業界人手不足深刻化	⇒	0.2 日本RPA需要増加	⇒	1 日本RPA導入支援サービス需要増加	⇒		0.45	増収	1.8	中期
	総計										増益	48	

# テラスカイ

## 影響シナリオ一覧



### 米国新型コロナウイルス感染拡大

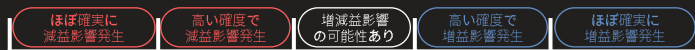
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時間軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



10

Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	係数	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
1	米国新型コロナウイルス感染拡大		1 米国テレワーク需要増加		0.2 米国社内コミュニケーションツール需要増加		0.02 増収		0.42		増収	0.42	中期
総計											増益	0.42	

# テラスカイ

xenoBrainに、本レポート対象企業につながるシナリオがございました。

## 影響シナリオ一覧



### 欧州新型コロナウイルス感染拡大

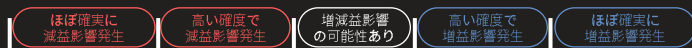
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



# テラスカイ

xenoBrainに、本レポート対象企業につながるシナリオがございました。

## 影響シナリオ一覧



### 中国新型コロナウイルス感染拡大

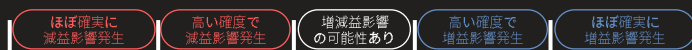
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



# テラスカイ

xenoBrainに、本レポート対象企業につながるシナリオがございませんでした。

## 影響シナリオ一覧



その他エリア

新型コロナウイルス感染拡大

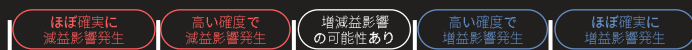
### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安





# テラスカイ サプライチェーン分析

- 仕入先分析サマリー
- 仕入先減益ランキング
- 仕入先増益ランキング
- 得意先分析サマリー
- 得意先減益ランキング
- 得意先増益ランキング

テラスカイ  
仕入先企業  
シナリオ影響スコア平均

0.73

仕入先企業  
比較的軽微な影響

当企業の仕入先は、業績にネガティブな影響を与えるシナリオとポジティブな影響を与えるシナリオの両方がどちらか一方への大きな偏りはなく、仕入先企業の全体として業績の影響は軽微といえます。

テラスカイ 仕入先業界への影響

業界名	仕入先シナリオ影響スコア合計	影響	主な仕入先企業 (シナリオ影響スコア合計)
ソフトウェア開発	1.3	影響軽微	株式会社A、株式会社B、株式会社C
システムインテグレーター	0.16	影響軽微	株式会社D、株式会社E、株式会社F、株式会社G、株式会社H、株式会社I、株式会社J、株式会社K、株式会社L、株式会社M、株式会社N、株式会社O、株式会社P、株式会社Q、株式会社R、株式会社S、株式会社T、株式会社U、株式会社V、株式会社W、株式会社X、株式会社Y、株式会社Z

# テラスカイ

## サプライチェーン分析 仕入先 減益影響ランキング

各国合計新型コロナウイルス感染拡大

<表の見方について>

業界名：xenoBrain独自の63分類です。

総合スコア：xenoBrain上で生成された、企業に影響する全経路のシナリオ影響スコアの合計を意味します。

企業名：全ての仕入先企業を対象に、各企業のシナリオ影響スコア合計の大きい順で表示しています。仕入先情報は帝国データバンク社から提供を受けたデータです。当ランキングでは仕入先からの仕入金額や依存度などは考慮していません。

主要取扱商品・サービス：有価証券報告書等の記載を基にxenodat独自のアルゴリズムやリサーチ結果により選定した情報です。仕入先企業の業態を示す情報であり、当業界所属企業へ販売している商品・サービスを示している情報ではございませんのでご注意ください。

企業ごとの総合スコアが意味する影響の目安

大幅減益 減益 影響軽微 増益 大幅増益

-100 -30 0 30 100

Ranking 業界名 総合スコア 企業名 主要取扱商品・サービス

## サプライチェーン分析は 有料版でご利用できます

【期間限定】特別価格プランの紹介ページはこちら [🔗](#)

本プランでは国内全上場企業のレポートを無制限にダウンロードが可能です。

未上場企業のレポートも間もなくリリース予定！！

# テラスカイ

## サプライチェーン分析 仕入先 増益影響ランキング

各国合計新型コロナウイルス感染拡大

<表の見方について>

業界名：xenoBrain独自の63分類です。

総合スコア：xenoBrain上で生成された、企業に影響する全経路のシナリオ影響スコアの合計を意味します。

企業名：全ての仕入先企業を対象に、各企業のシナリオ影響スコア合計の大きい順で表示しています。仕入先情報は帝国データバンク社から提供を受けたデータです。当ランキングでは仕入先からの仕入金額や依存度などは考慮していません。

主要取扱商品・サービス：有価証券報告書等の記載を基にxenodat独自のアルゴリズムやリサーチ結果により選定した情報です。仕入先企業の業態を示す情報であり、当業界所属企業へ販売している商品・サービスを示している情報ではございませんのでご注意ください。

企業ごとの総合スコアが意味する影響の目安

大幅減益

減益

影響軽微

増益

大幅増益

-100

-30

0

30

100

Ranking 業界名 総合スコア 企業名 主要取扱商品・サービス

## サプライチェーン分析は 有料版でご利用できます

【期間限定】特別価格プランの紹介ページはこちら 

本プランでは国内全上場企業のレポートを無制限にダウンロードが可能です。

未上場企業のレポートも間もなくリリース予定！！







# テラスカイ

## サプライチェーン分析 得意先 減益影響ランキング

各国合計新型コロナウイルス感染拡大

<表の見方について>

業界名：xenoBrain独自の63分類です。

総合スコア：xenoBrain上で生成された、企業に影響する全経路のシナリオ影響スコアの合計を意味します。

企業名：全ての得意先企業を対象に、各企業のシナリオ影響スコア合計の大きい順で表示しています。得意先情報は帝国データバンク社から提供を受けたデータです。当ランキングでは得意先からの売上金額や依存度などは考慮していません。

主要取扱商品・サービス：有価証券報告書等の記載を基にxenodat独自のアルゴリズムやリサーチ結果により選定した情報です。得意先企業の業態を示す情報であり、当業界所属企業へ販売している商品・サービスを示している情報ではございませんのでご注意ください。

企業ごとの総合スコアが意味する影響の目安

大幅減益

減益

影響軽微

増益

大幅増益

-100   -30   0   30   100

Ranking   業界名   総合スコア   企業名   主要取扱商品・サービス

## サプライチェーン分析は 有料版でご利用できます

【期間限定】特別価格プランの紹介ページはこちら [🔗](#)

本プランでは国内全上場企業のレポートを無制限にダウンロードが可能です。

未上場企業のレポートも間もなくリリース予定！！

# テラスカイ

## サプライチェーン分析 得意先 減益影響ランキング

各国合計新型コロナウイルス感染拡大

<表の見方について>

業界名：xenoBrain独自の63分類です。

総合スコア：xenoBrain上で生成された、企業に影響する全経路のシナリオ影響スコアの合計を意味します。

企業名：全ての仕入先企業を対象に、各企業のシナリオ影響スコア合計の大きい順で表示しています。仕入先情報は帝国データバンク社から提供を受けたデータです。当ランキングでは仕入先からの仕入金額や依存度などは考慮していません。

主要取扱商品・サービス：有価証券報告書等の記載を基にxenodat独自のアルゴリズムやリサーチ結果により選定した情報です。仕入先企業の業態を示す情報であり、当業界所属企業へ販売している商品・サービスを示している情報ではございませんのでご注意ください。

企業ごとの総合スコアが意味する影響の目安

大幅減益

減益

影響軽微

増益

大幅増益

20

-100

-30

0

30

100

Ranking 業界名 総合スコア 企業名 主要取扱商品・サービス

## サプライチェーン分析は 有料版でご利用できます

【期間限定】特別価格プランの紹介ページはこちら [🔗](#)

本プランでは国内全上場企業のレポートを無制限にダウンロードが可能です。

未上場企業のレポートも間もなくリリース予定！！


# テラスカイ

## AI決算コメント

### 2020年02月期 通期

(19/03 - 20/02月)

決算発表日時2020年 04月14日 15:00

AI決算分析サービスをもっと知りたい 

#### <AI決算コメントについて>

本コメントは、決算発表後最速数十秒で自動生成されるテキスト形式のレポートであり、その内容を定期的に本レポートに反映しております。本レポートでは、営業利益や最終利益の実績値の結果情報だけでなく、その業績変動の背景を独自の自然言語処理技術を使って自動解説として出力しており、瞬時に決算の背景を理解することができます。また、セグメント数値を自動で抽出することにより、その決算の業績変動のドライバーとなったセグメントについてもすぐに確認することが可能です。

20年2月期、売上高は、93億円で前期比41.8%増収となった。増収は、ソリューション事業の売上増加が寄与した。営業利益は、7.25億円で前期比480%増益となった。営業増益は、大型案件の受注及び受託開発・保守案件の件数の増加等によりソリューション事業が増収増益となったことが寄与した。経常利益は、7.61億円で前期比296%増益となった。最終利益は、464%増の8.8億円となった。投資有価証券売却益3.77億円の計上が寄与した。

四半期ベースでは、前年同期比では、売上高は、25.6億円でy-y36.1%増収となった。増収は、ソリューション事業の売上増加が寄与した。営業利益は、1.67億円でy-y41.5%増益となった。営業増益は、ソリューション事業が前年同期から増益となったことが寄与した。経常利益は、1.66億円でy-y26.7%増益となった。最終利益は、1.25億円でy-y34.4%増益となった。前四半期比売上高は、25.6億円でq-q11.3%増収となった。増収は、製品事業は売上減少も、ソリューション事業の売上増加が寄与した。営業利益は、1.67億円でq-q21.6%減益となった。営業減益は、ソリューション事業が前四半期から増益となったものの、製品事業が減益となったことが影響した。経常利益は、1.66億円でq-q19.4%減益となった。最終利益は、1.25億円でq-q5.0%増益となった。

会社は21年2月期業績予想を発表。売上高を対前年比15.4%増の107億円、営業利益を対前年比28.3%減の5.2億円、経常利益を対前年比33.4%減の5.07億円、最終利益を対前年比74.8%減の2.22億円とした。5月1日付で株式分割(1株->2株)。

自己資本比率は58.5%で19年2月末の52.5%から改善した。

EBITDAマージンは11.84%(前年同期は6.84%)となった。

インタレストカバレッジレシオは388.14倍(前年同期は126.60倍)となった。

D/Eレシオは0.09倍(前期末は0.29倍)となった。

ソフトウェア開  
発8社

競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



予想値分析

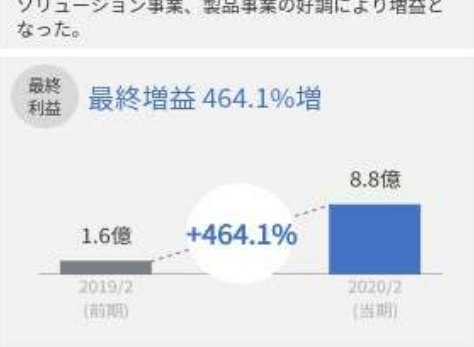


通期業績予想達成回数 2/4回  
通期業績予想平均達成率 139.4%  
※過去の通期決算で発表された次期業績予想の達成状況

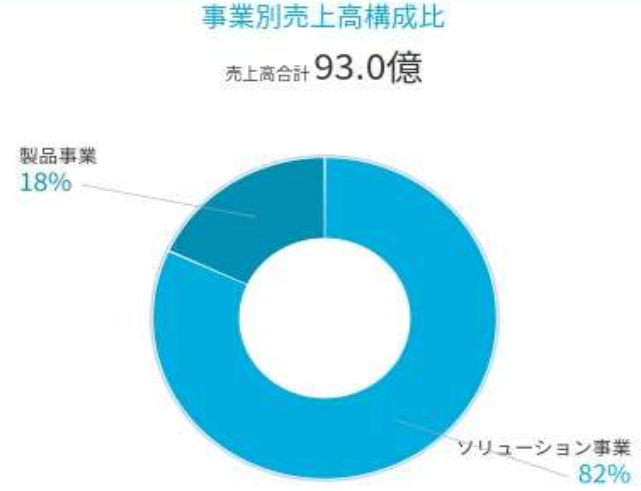


中間配当予想は0.0円と発表された。  
株式分割 1株→2株、効力発生日は2019年5月1日

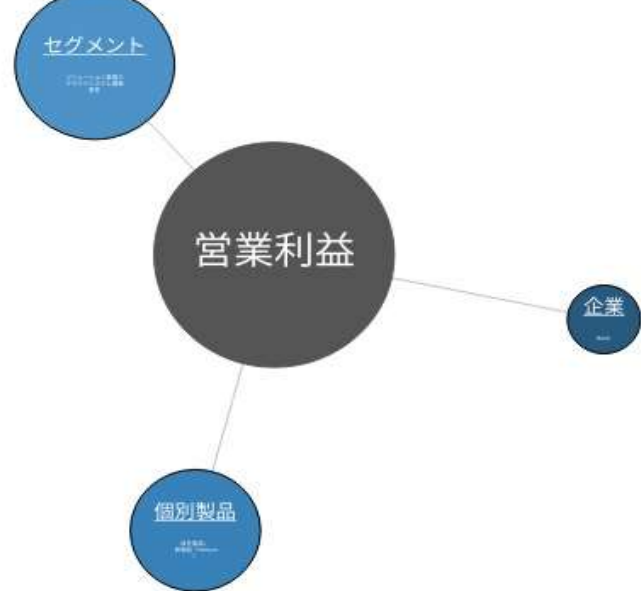
P/L分析



事業別分析



営業利益影響要因の経年分析





ソフトウェア開  
発8社

競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



### 予想値分析

進捗率 会社計画発表なし

営業益予想 会社計画発表なし

配当予想 期末配当予想 修正なし

14.0円 (2020/6 直近予想) → +0.0円 (2020/6 今回予想)

※19/08/14発表

### P/L分析

売上収益 横ばい 0.6%増

127.8億 (2019/3 前期Q3実績) → +0.6% → 128.5億 (2020/3 当期Q3実績)

フィールドマーケティング事業、SFA事業は売上増加も、カスタマーサポート事業の売上減少が影響し、全体としておおむね横ばいで推移した。

営業利益 大幅減益 39.1%減

17.0億 (2019/3 前期Q3実績) → -39.1% → 10.4億 (2020/3 当期Q3実績)

SaaS/ASP事業、SFA事業の不振により減益となった。

最終利益 最終減益 50.5%減

7.5億 (2019/3 前期Q3実績) → -50.5% → 3.7億 (2020/3 当期Q3実績)

### 事業別分析

事業別利益 SaaS/ASP事業 大幅減益

6.1億 (2019/3 前期Q3実績) → -64.2% → 2.2億 (2020/3 当期Q3実績)

売上収益は3,100百万円(前年同期比3.0%増)となるも、成長に向けての開発や積極的な人材採用等の先行費用の増加により減益となった。

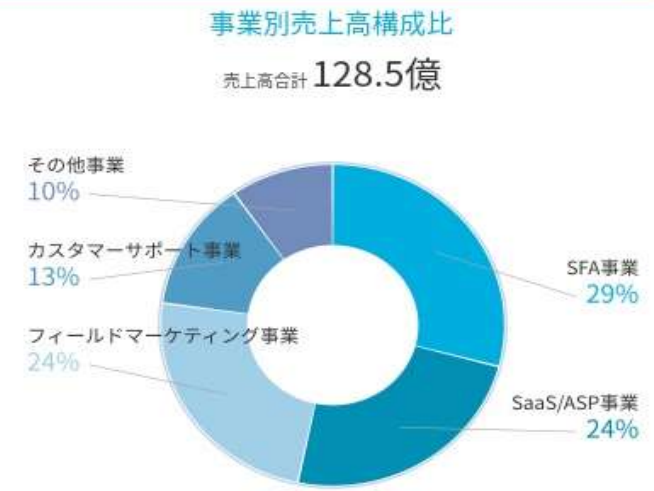
事業別利益 カスタマーサポート事業 大幅増益

0.4億 (2019/3 前期Q3実績) → +32.8% → 0.6億 (2020/3 当期Q3実績)

スカラコミュニケーションズのSaaS/ASPサービスの提案、受注、導入が継続して進んでおり、利益率の低い受託業務を整理し、より利益率の高いサービス提供に注力したことにより増益となった。

事業別利益 フィールドマーケティング事業 減益

2.3億 (2019/3 前期Q3実績) → -12.3% → 2.0億 (2020/3 当期Q3実績)





ソフトウェア開発8社

競合企業決算分析

AI決算分析サービスをもっと知りたい



予想値分析



通期業績予想達成回数 7/11回  
通期業績予想平均達成率 72.8%  
※過去の通期決算で発表された次期業績予想の達成状況



期末配当予想は13.0円と発表された。

P/L分析



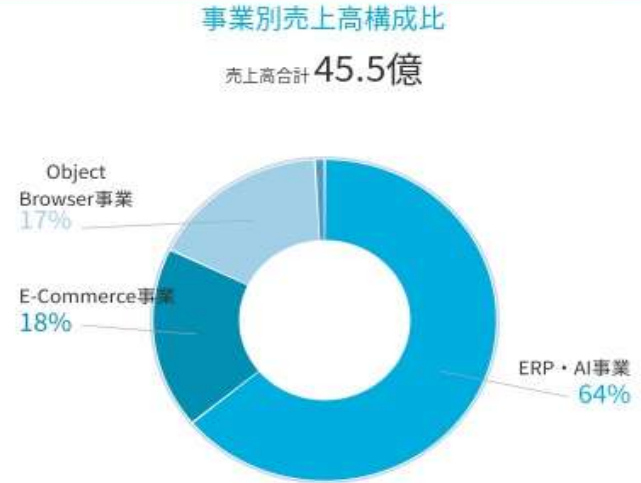
ERP・AI事業、E-Commerce事業の売上増加により増収となった。



E-Commerce事業、その他事業、ERP・AI事業の好調により増益となった。



事業別分析



営業利益影響要因の経年分析



ソフトウェア開  
発8社

競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



予想値分析



営業益  
予想 通期会社予想 計画修正なし



通期業績予想達成回数 5/11回  
通期業績予想平均達成率 75.9%  
※過去の第1四半期決算で発表された通期業績予想の達成状況

配当  
予想 中間配当予想 修正なし



P/L分析



ソフトウェア事業の売上増加により増収となった。

営業  
利益 黒字化

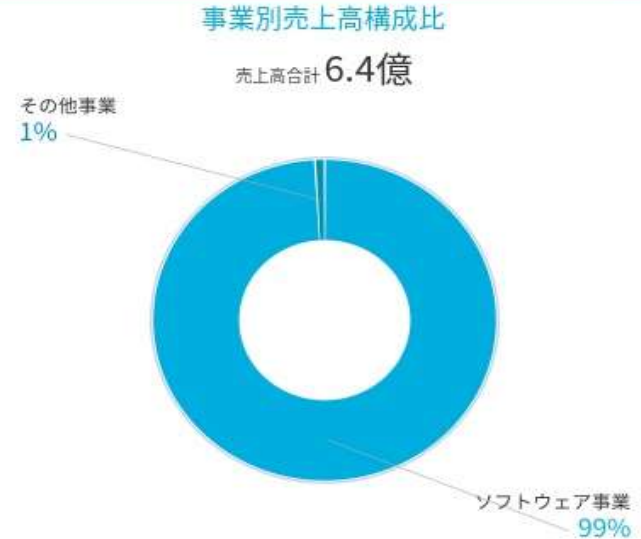
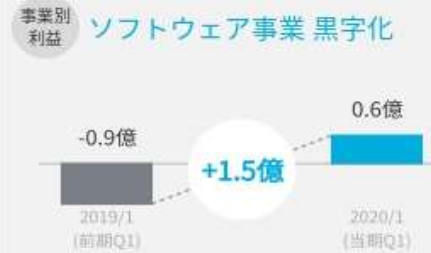


ソフトウェア事業の好調により増益となった。

最終  
利益 最終増益



事業別分析



営業利益影響要因の経年分析

解析対象の文章が不足しているため  
バブルチャートを表示できませんでした

ソフトウェア開  
発8社

競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



予想値分析



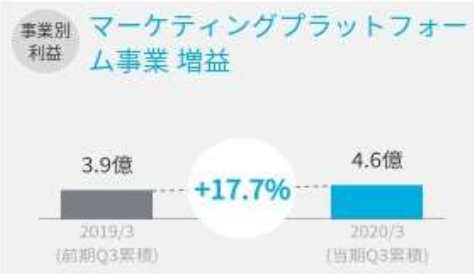
通期業績予想達成回数 3/5回  
通期業績予想平均達成率 94.3%  
※過去の第3四半期決算で発表された通期業績予想の達成状況



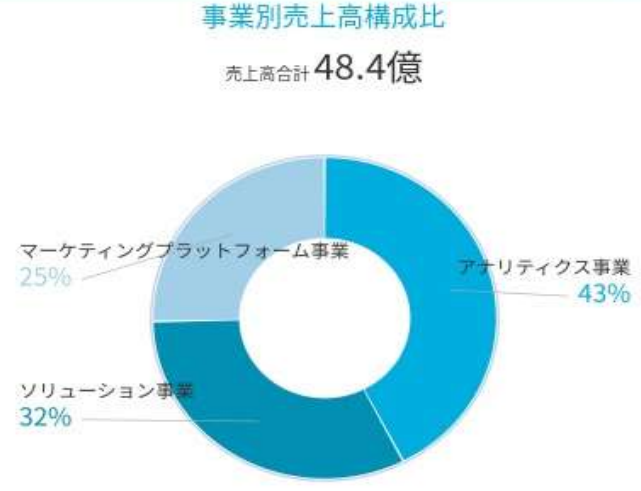
P/L分析



事業別分析



事業別売上高構成比



営業利益影響要因の経年分析





ソフトウェア開  
発8社

競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



予想値分析



通期業績予想達成回数 2/3回  
通期業績予想平均達成率 97.8%  
※過去の第1四半期決算で発表された通期業績予想の達成状況



P/L分析



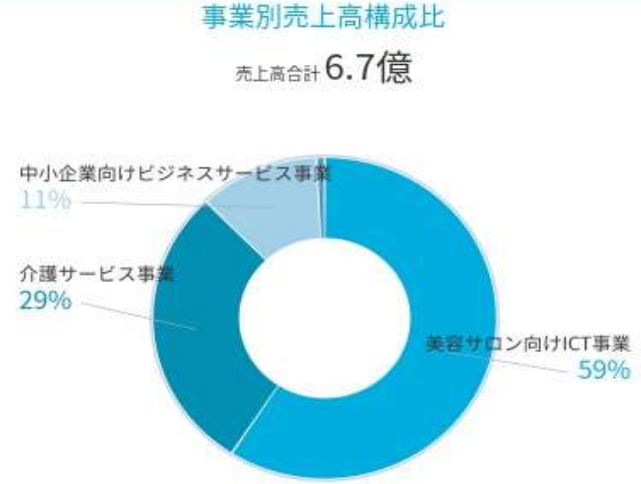
美容サロン向けICT事業の売上増加により増収となった。



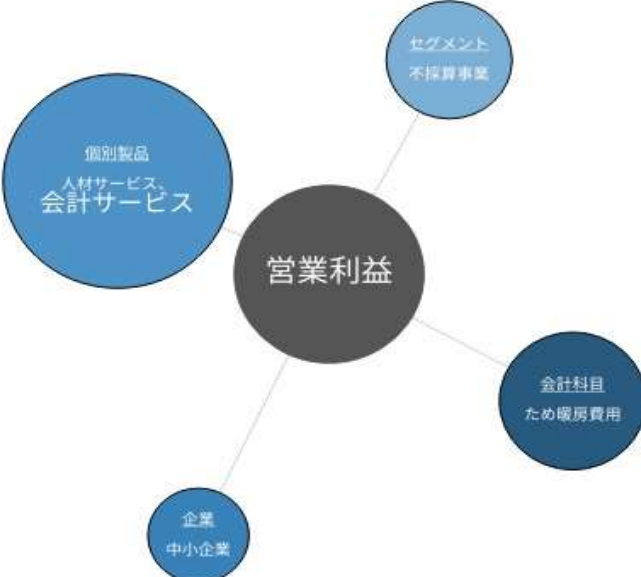
美容サロン向けICT事業の好調により増益となった。



事業別分析



営業利益影響要因の経年分析



ソフトウェア開  
発8社

競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



予想値分析

**進捗率** 会社計画発表なし

**営業益予想** 会社計画発表なし

**配当予想** 期末配当金 計画通り

7.4円 (直近予想) → +0.0円 → 7.4円 (今回実績)  
※19/03/14発表

中間配当予想は0.0円と発表された。

P/L分析

**売上高** 増収 7.6%増

22.5億 (2019/1 前期) → +7.6% → 24.3億 (2020/1 当期)

物流ソリューション事業、システムソリューション事業の売上増加により増収となった。

**営業利益** 減益 13.0%減

2.8億 (2019/1 前期) → -13.0% → 2.5億 (2020/1 当期)

太陽光発電事業は好調だったが、ASP事業の不振により減益となった。

**最終利益** 最終減益 26.5%減

1.5億 (2019/1 前期) → -26.5% → 1.1億 (2020/1 当期)

貸付金に対する貸倒引当金繰入額57,020千円を特別損失として計上したことにより最終減益となった。

事業別分析

**事業別利益 ASP事業** 減益

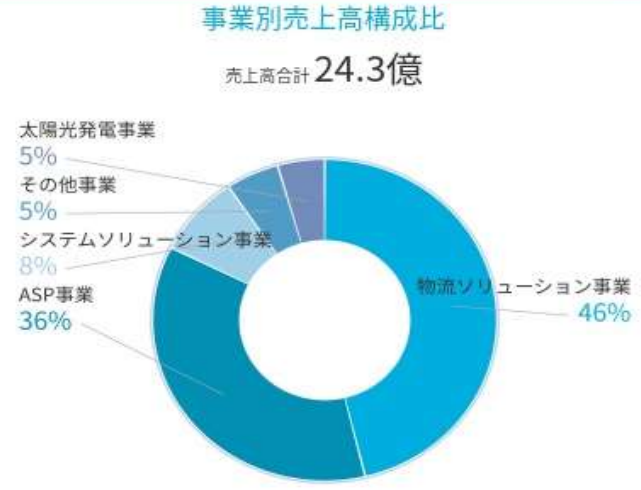
6.3億 (2019/1 前期) → -3.7% → 6.0億 (2020/1 当期)

**事業別利益 物流ソリューション事業** 増益

1.0億 (2019/1 前期) → +3.7% → 1.1億 (2020/1 当期)

**事業別利益 太陽光発電事業** 増益

0.3億 (2019/1 前期) → +27.5% → 0.4億 (2020/1 当期)



営業利益影響要因の経年分析





ソフトウェア開  
発8社

競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



予想値分析

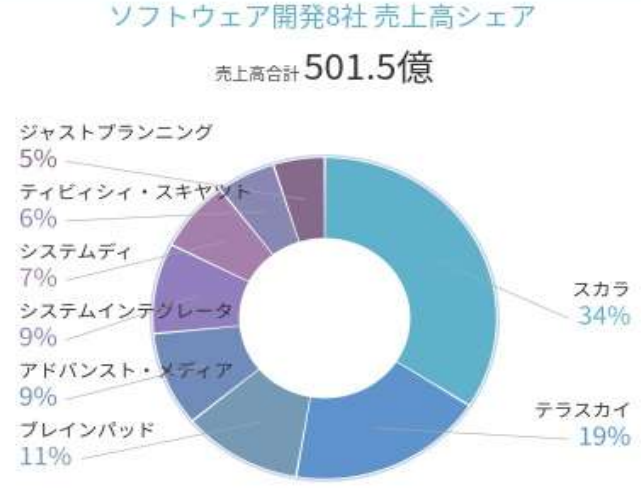


P/L分析

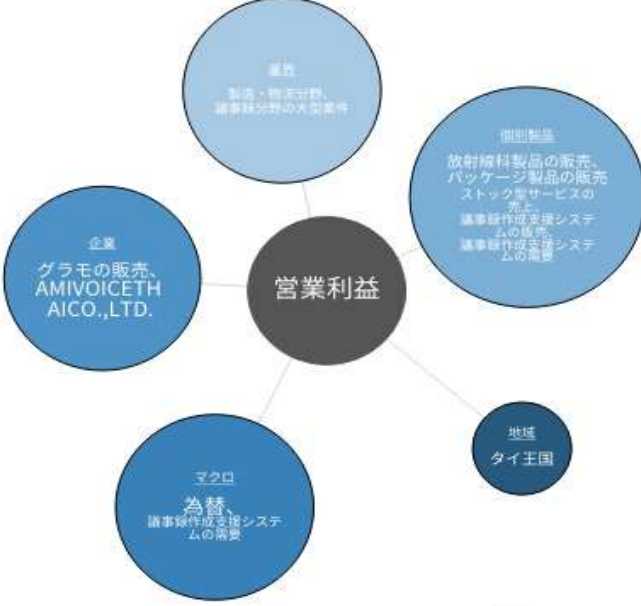


当企業グループ全体では、本社移転関連費を計画どおり単体の増益でカバーしたことの影響も、BSR2の大幅な減益の影響により減益となった。

競合分析



営業利益影響要因の経年分析



# テラスカイ

## 業績要因一覧

セグメント及び業績に影響するトピック	売上高構成比率	影響時間軸	売上高(百万円)	出典	新型コロナウイルス感染拡大影響有無
ソリューション事業	82.3%		5,396	有価証券報告書	
RPA導入支援サービス需要	82.3%	短期		企業HP	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
Salesforce市場	82.3%	短期		有価証券報告書	
クラウド導入支援需要	82.3%	短期		有価証券報告書	
テレワーク導入支援サービス需要	82.3%	短期		企業HP	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
社内コミュニケーションツール需要	82.3%	短期		企業HP	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
製品事業	17.7%		1,163	企業HP	
RPA導入支援サービス需要	17.7%	短期		企業HP	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り

### <表の見方について>

セグメント及び業績に影響するトピック：開示資料を中心に、様々なデータソースから抽出された本レポート対象企業の業績に影響を及ぼすトピックを、セグメントに分類して列挙しております。

売上高構成比率：セグメント名称と同一行にある比率は、そのセグメントの売上高構成比率を表示しております。各業績に影響するトピックは、セグメント売上高構成比率を基に、主力商品や主要原材料をより高く、非主力商品や非主要原材料をより低くなるよう、xenoBrain上で独自に推定した比率が表示されております。

影響時間軸：業績に影響するトピックに変動があったときに、どのような時間軸で業績に影響するかをxenodata lab社のアナリストが判断しています。短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。

売上高：セグメント売上高及び連結財務諸表上の売上高を表示しております。

出典：業績に影響するトピックを抽出したデータソースを表示しております。

新型コロナウイルス感染拡大の影響有無：「新型コロナウイルス感染拡大の影響有り」と記載されている場合、新型コロナウイルス感染拡大の影響で同一行に表示されるトピックが増減（又は発生）し、その結果として当企業の業績に影響を及ぼす可能性があることを意味します。

# テラスカイ

## 基本情報

企業コード	3915
企業名	テラスカイ
業種（東証33業種）	情報・通信業
業種（xenoBrain）	システムインテグレーター
代表者	代表取締役社長 佐藤 秀哉
住所	東京都中央区日本橋二丁目11番2号太陽生命日本橋ビル
電話番号	03-5255-3410
売上高	9,300百万円
資本金	1,068百万円
取引市場	東証1部
URL	<a href="https://www.terrasky.co.jp/">https://www.terrasky.co.jp/</a>

# システムインテグレーター業界

---

## テラスカイが所属する業界全体の分析レポート

xenoBrainでは新型コロナウイルス感染拡大が、所属する業界全体にどのような影響が発生しているのか、また、どのようなシナリオが考えられるかを、総合的に俯瞰できる業界レポートも提供しております。

システムインテグレーター業界のレポートダウンロードはこちら↓

業界レポート ダウンロード 

[全63業界完全版レポートのダウンロードはこちら >>>](#)





# 本レポート発行企業

株式会社xenodata lab.

所在地 〒150-0046 東京都渋谷区松濤1-29-1  
渋谷クロスロードビル5F  
設立年月日 2016年2月12日  
代表者 代表取締役社長 関 洋二郎  
従業員数 25名

## 沿革

- 2016/08 第一期 MUFJ Fintechアクセラレータ **グランプリ受賞**
- 2019/03 Series Bラウンド〃 資金調達 **6.8億円**
- 2019/4 **時事通信社**と業務資本提携契約締結
- 2019/06 **ダウ・ジョーンズ社**と業務提携強化を発表
- 2019/11 **帝国データバンク**との業務提携を発表

株式会社xenodata lab.は、AIにより経済・企業の将来予測をリアルタイムで提供するSaaS型AIサービス『xenoBrain』を運営するスタートアップ企業です。2016年に創業以来、経済予測に特化し自然言語処理や機械学習を中心とした技術で膨大な経済データの解析を行い、主に大手金融機関や事業法人にサービスを提供しております。